

フロンによる 温暖化防止取組に関する シンポジウム

2010年11月9日(火曜日)13:00~16:50

※受付は12:30より行います。事前申込(裏面参照)が必要です。

会場:東京国際フォーラム ホール D5

現在、京都議定書の削減目標達成のため温室効果ガス削減対策が進められていますが、我が国の場合、温室効果ガスに占める二酸化炭素の割合が圧倒的に高い状況にあります。そのため、削減対策も二酸化炭素削減が中心となっていますが、温室効果という観点からは、GWP値が高い代替フロン等3ガス対策を講じていくことがより効果的であることから、ノンフロン化やフロンの回収・破壊等の取組が進められています。しかし、バンク(製品の中にストックされているもの)や漏洩対策も喫緊の課題となっていることより、代替フロン等に関する対策の現状・課題に関する情報発信等を行うことで、着実な温暖化対策に結びついていくこととなります。

また、フロンについてはオゾン層破壊物質であることから、モントリオール議定書において温室効果が高いものは生産規制等が決められており、両議定書にかかわるものでもあり、国際交渉の動向も注視しなければなりません。

以上のことから、今後の我が国の地球温暖化防止対策促進に寄与することを目的に、フロンによる温暖化防止対策について有識者を招聘したシンポジウムを開催します。

◇プログラム◇ (テーマ等一部予定を含みます)

13:00~13:05	開会
13:05~13:45	基調講演 勝田 正文 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授 「フロンと温暖化対策」
13:45~14:15	講演 川村 邦明 株式会社前川製作所常務取締役 「前川製作所の自然冷媒での取り組み」
14:15~14:45	講演 石井 武 三洋電機株式会社 コマーシャルカンパニー冷熱技術開発センター部長 「三洋電機における取り組み」
14:45~14:55	休憩
14:55~15:25	講演 小笠原祐二 群馬県環境森林部環境保全課次長 「群馬県における取り組み」
15:25~15:55	講演 皆川 重治 経済産業省製造産業局オゾン層保護等推進室課長補佐 「代替フロン等3ガスの排出抑制に係る現状と今後の見通し」
15:55~16:50	パネルディスカッション コーディネーター: 勝田 正文 早稲田大学大学院教授 パネリスト: 講演者
16:50	閉会

後援 経済産業省 環境省

協賛 社団法人産業と環境の会会員(予定)

(株)IHI 旭化成(株) 旭硝子(株) 味の素(株) 宇部興産(株) 王子製紙(株) 大阪ガス(株) (株)カネカ 関西電力(株) 関西ペイント(株) 九州電力(株) 協和発酵キリン(株) (株)クレハ
(株)神戸製鋼所 JX日鉱日石エネルギー(株) JFEスチール(株) 四国電力(株) 昭和シェル石油(株) 昭和電工(株) 新日本製鐵(株) 住友化学(株) 住友金属工業(株)
積水化学工業(株) 第一三共(株) 大日本印刷(株) 武田薬品工業(株) 中国電力(株) 中部電力(株) 電源開発(株) 東京ガス(株) 東京電力(株) (株)東芝 東ソー(株) 東燃化学(株)
東燃ゼネラル石油(株) 東邦ガス(株) 東北電力(株) DOWAホールディングス(株) (株)トクヤマ トヨタ自動車(株) 日産自動車(株) 日新製鋼(株) 日本化薬(株) 日本製紙(株)
日本電気(株) パナソニック(株) (株)日立製作所 富士通(株) 富士フィルム(株) 北陸電力(株) 北海道電力(株) 本田技研工業(株) 三井化学(株) 三井金属鉱業(株) 三菱化学(株)
三菱自動車工業(株) 三菱重工業(株) 三菱製紙(株) 三菱マテリアル(株) 横浜ゴム(株) (社名五十音順)

このシンポジウムは平成22年度公益信託地球環境保全フロン対策基金の助成を受けて開催します。